

町の発展にご尽力感謝します

平成24年度の羽幌町表彰者が決定しましたので、その功績を紹介します。

羽幌町では、町表彰条例に基づき、町政や地域の発展に寄与し、他の模範となる行為を行った個人や団体を表彰しています。今年度の表彰について、羽幌町表彰審議会の答申を受け決定しました。表彰式は11月24日サンセットプラザで行われます。

危険業務従事者 叙勲

警察や防衛、消防など危険性が高い業務に精通した方々が対象となる平成24年度危険業務従事者叙勲の受章者が10月12日政府により発表され、羽幌町から小川さんの受章が決まりました。栄えある受章おめでとうございます。

瑞宝双光章 消防功労



小川 幸忠 さん

昭和32年4月に羽幌町消防本部消防士を拝命。平成2年に消防署長、更に平成7年には消防長に就任し、平成8年に退職までの間、特に防火思想の普及に尽力されました。

地域の防火意識の高揚を図るため、民間防火団体の結成を強く提唱し、幼年・少年・婦人・シルバーの各階層の防火クラブが結成されました。結成後も育成強化に努め、地域に密着した火災予防を推進されました。また、職団員の教養訓練や消防力の強化に手腕を発揮し、職団員の資質向上に大きく貢献されました。

善行表彰 公益のための寄付

川崎市
前川 富義 さん

平成20年より今年度まで4回にわたり、羽幌町まちづくり応援寄付金として、多額の寄附をされ、羽幌町の振興・発展に貢献されました。

功績表彰 社会功績

村上 政五郎 さん



昭和59年5月に保護司の委嘱を受けてから現在まで、保護観察官が不足している中、更正を支援する活動の担い手として、羽幌地区で保護観察を受けることになった者への生活相談や社会復帰の手助けや環境調整に尽力されています。

平成21年4月より羽幌地区保護司会副会長となり、犯罪や非行のない明るい社会づくりに貢献されています。また、平成10年12月からは民生委員児童委員として常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、地域福祉の向上に貢献されています。

功績表彰 社会功績

高橋 圭子 さん



平成3年10月に保護司の委嘱を受けてから平成23年11月までの20年間、保護観察官の人数が不足している中、更正を支援する活動の担い手として羽幌地区で保護観察を受けることになった者への生活相談や社会復帰の手助け、環境調整に尽力されました。

また、昭和57年10月から現在まで更生保護女性会会員として、少年犯罪の予防、更正促進のために日々務められています。平成13年4月から羽幌地区更生保護女性会の役員を務め、現在も理事として会の運営と活動に多大な貢献をされています。

功績表彰 自治功績

松村 益司 さん



平成11年10月町教育委員に就任、平成14年10月からは委員長となり、12年間にわたり本町の教育行政の推進に尽力されました。

各学校に教育用パソコンを配置し情報ネットワークを整備。天売小中学校の校舎改築や羽幌中学校の耐震補強及び大規模改修など、教育施設の整備においても尽力されました。

また、総合体育館の管理、各種スポーツ事業をNPO法人に委託し、民間の柔軟な発想による施設運営と事業の効率化を図られました。

功績表彰 自治功績

村井 幸雄 さん



昭和38年焼尻消防団に入団、以来43年有余地域住民の生命と財産の保全と地域防災に精励されました。

分団長、副団長を歴任し平成14年3月、団長に任命され、各種災害には率先して出動し、的確な現場指揮を執り被害の軽減に努められました。

また、平成16年には羽幌町に初の女性消防団員を誕生させました。「火災のない焼尻島」を目標に、防火思想の普及を図るとともに、焼尻地区婦人防火クラブを結成させました。これらのことが結実し焼尻地区は、約20年間無火災であり、火災予防に大きく貢献されました。

功績表彰 自治功績

實藤 吉信 さん



昭和40年羽幌消防団に入団、以来46年有余地域住民の生命と財産の保全と地域防災に精励されました。

分団長、副団長と歴任し平成15年12月より消防団の最高責任者である団長に就任。110名の消防団員を統率し、団員の教育訓練、減少している団員の確保に全力で取り組み消防力の体制強化に尽力されました。

また、火災を始め各種災害に出動し指揮本部長として被害状況をいち早く把握し、部下団員への的確な指揮により被害を最小限に食止めるなど、地域の防災に努められた功績は、誠に多大であります。

功績表彰 自治功績

工藤 喜一 さん



昭和37年羽幌町消防本部に消防士として採用され、以来37年10カ月にわたり地域住民の生命、財産の保全に貢献されました。

平成10年4月北留萌消防組合消防署長に就任、さらに平成13年4月には同消防組合の8代消防長に就任、羽幌町はもちろんのこと、組合管内の消防力促進と救急業務の高度化推進や防火思想の普及など一貫して消防体制の強化充実に全力を傾注されました。

また、職員の規律厳正や育成指導に努め、教育訓練の充実などに尽力された功績は誠に多大であります。